



# LX USB JACK 取付説明書

TOYOTA カムリ

年式：2011年9月以降 型式：AVV50

取り付け作業の方へ



## 重要

- ・取り付けは、販売店にて行なうことをお勧めします。不適切な組み立てによる損傷及び傷害については保証しかねます。
- ・車両部品の取り付け・取り外しの際は、部品を傷付けないよう細心の注意を払ってください。
- ・ハーネス類は、ボディパネル等のがった角によってショートしないよう、安全かつ確実に配線してください。
- ・車両部品脱着の詳細についてはサービスマニュアルをご参照ください。

**警告**・・・安全の為に必ず守ってください。生命の危機または、重大な損害につながる恐れがあります。

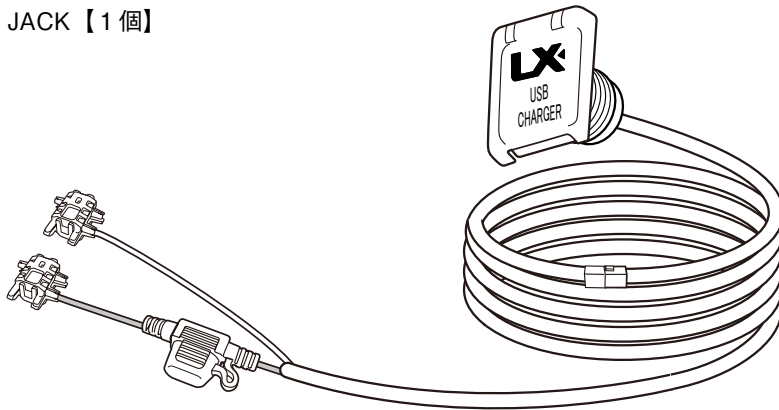
- ・作業は、平らな場所で十分なスペースと安全を確保して行なってください。また、車両はシフトノブをニュートラルまたは、パーキングポジションにし、サイドブレーキをかけエンジンを停止させ、キーを抜いておいてください。
- ・雨等のあたる場所での作業は避けてください。濡れた手での作業は、感電する恐れがあり大変危険です。また、換気を確実にしない排気ガス等の充満には充分注意してください。
- ・ドリルやスクリューを使用する際は、他部品（特に裏側にある部品）の位置を確認の上ドリルの刃や、スクリュー等が干渉しないように注意してください。ドリル加工時は、保護メガネ等を着用し作業を行なってください。
- ・ハーネスを強く引っ張らないでください。端子の加締めが外れ、接触不良の原因となる場合があります。また、ハーネスは可動部に噛みこまないように配線してください。
- ・必ずバッテリー⊕端子及び、⊖端子を外してから作業してください。バッテリー端子は必ず⊖端子から外し、ショートさせないように充分注意してください。
- ・ボルト及びナットの締め付けには、寸法の合った工具を使用し、確実に行ってください。
- ・ハーネス配索は、タイラップ等を使用して他部品との干渉がないように固定してください。また、余分なタイラップ等は切り取ってください。

**注意**・・・製品使用上、製品取り付け上必ず守ってください。障害や製品製性能の低下及び、物的損害につながる恐れがあります。

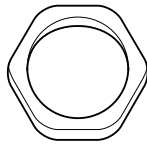
- ・車両から取り外したクリップ、スクリュー等は、復元時に間違えないようにしてください。
- ・コネクタの脱着は、コネクタを持って確実に行なってください。不確実な接続は、不点灯の原因となります。
- ・コネクタを接続する場合は確実に差し込み固定してください。
- ・車両部品を取り外す場合や復元する場合には、サービスマニュアルを参照して作業してください。
- ・テープや両面テープ等を使用して取り付ける箇所は、取り付ける前に汚れや油等を完全に除去してください。
- ・タイラップ等でハーネスを固定する際、各接続部のハーネスを強く引っ張らないよう、注意してください。接触端子の腐食や接触不良の原因となる場合があります。ハーネスを固定する際は若干ゆとりを持たせて固定してください。
- ・製品の汚れは、スポンジ等に中性洗剤をつけて落としてください。シンナー等の有機溶剤、酸、アルカリ等は絶対に使用しないように注意してください。

## 内容品

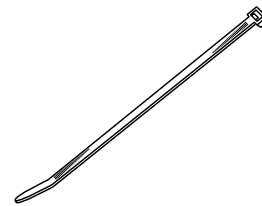
### ① LX USB JACK 【1個】



### ② 樹脂ナット 【1個】



### ③ タイラップ 【2本】

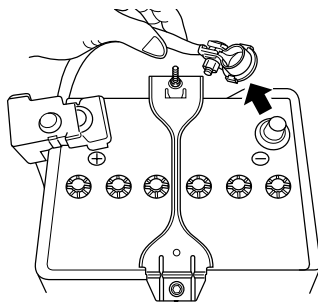


## 工具

電気ドリル、ホールソー（φ 24 mm）、ニッパー、キリ、ビニールテープ、  
マスキングテープ、プラスドライバー、トルクレンチ、リムーバー、ペンチ

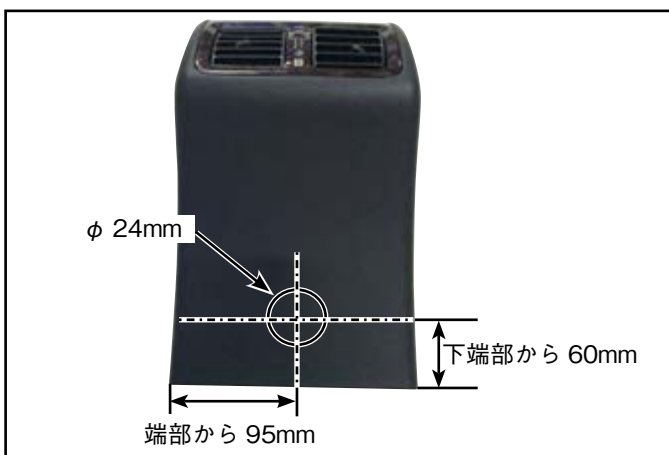
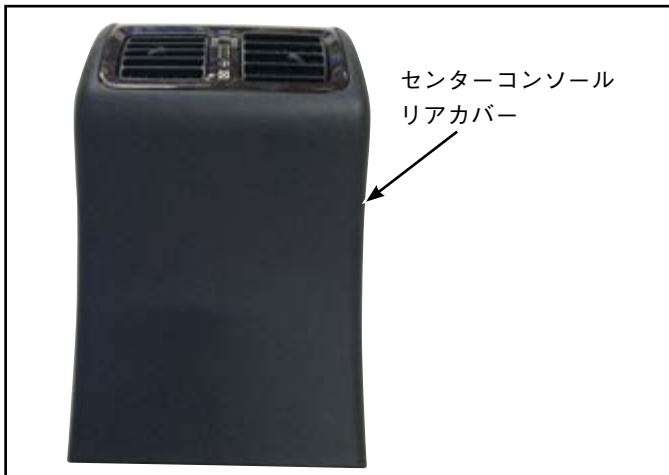
## 取付要領

### 1 バッテリーターミナルの取り外し



※バッテリーターミナルを外した後は、90秒待ってから  
作業してください。

## 2 車両部品の取り外し及び加工



- (1) センターコンソールのリアカバーをリムーバー等を使用して取り外してください。

### △注意

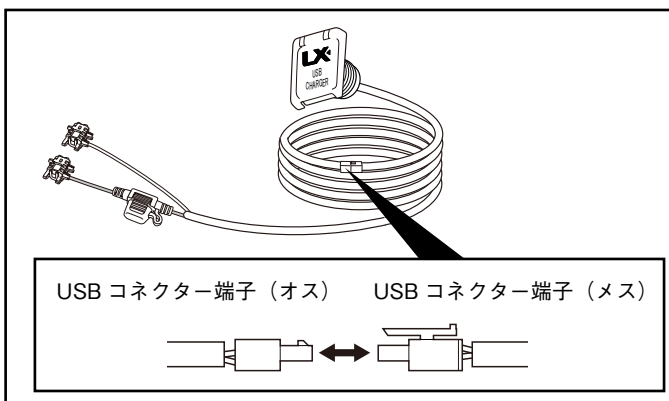
車両部品の取り外し、取り付けに関しては、サービスマニュアルを参考にしてください。また、外した部品にダメージを与えぬよう、注意してください。

- (2) センターコンソールリアカバーの左図の位置の中心部にキリ等で印を付けてください。
- (3) 電気ドリル等にφ 24mmのホールソーを取り付けて穴を開けてください。

### △注意

ドリルは加工面に対して直角に当てて加工をしてください。ドリルで開けた穴のバリは取り除いてください。穴を開ける際に車両側部品に傷をつけないように気を付けてください。

## 3 LX USB JACK の取り付け



- (1) ① LX USB JACK の本体部とハーネスを接続しているコネクタを取り外してください。

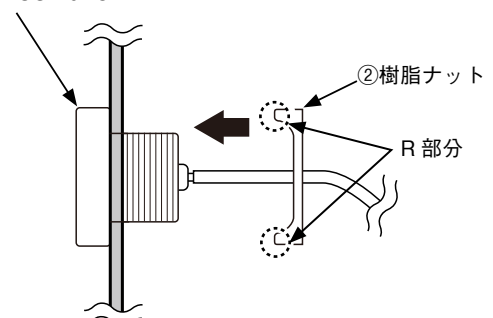
- (2) φ 24mm の穴に① LX USB JACK 本体を入れ、裏側より②樹脂ナットで固定してください。

### △注意

②樹脂ナットはRがついている面を① LX USB JACK の方向にして装着してください。



① LX USB JACK



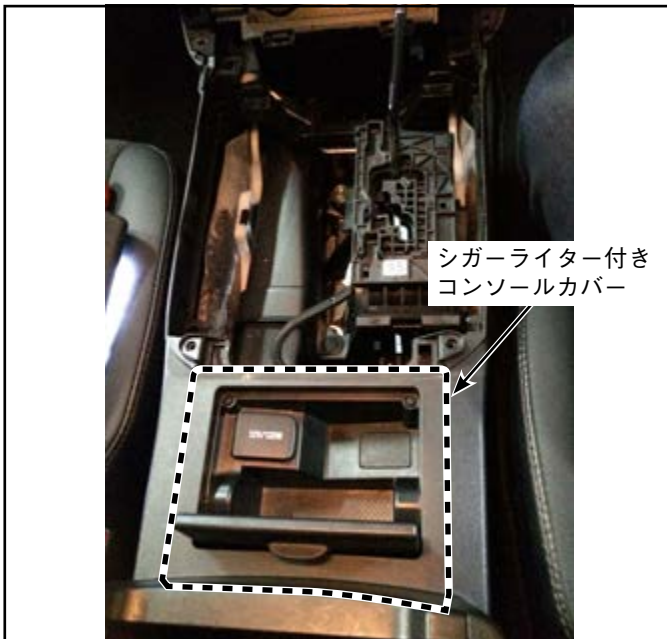
※締付けの目安は USB 本体が動かない程度に固定してください。

## 4

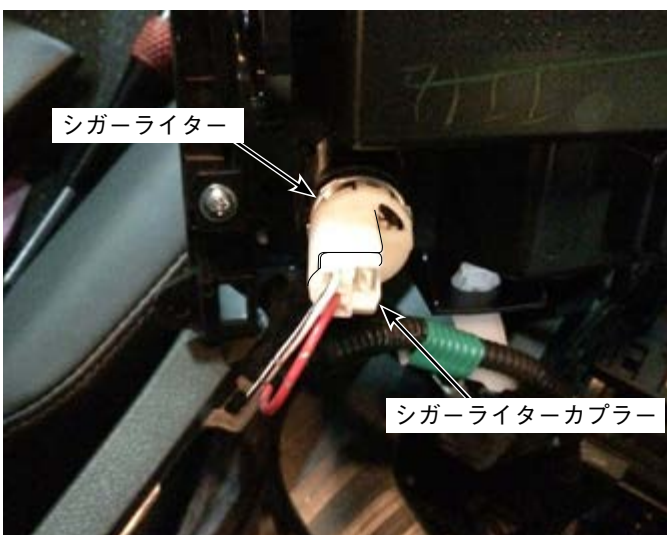
## 車両側電源へのハーネスの接続



- (1) シフトノブを取り外し、センターコンソールカバーのシフト部分のカバーをリムーバー等を使用して取り外してください。



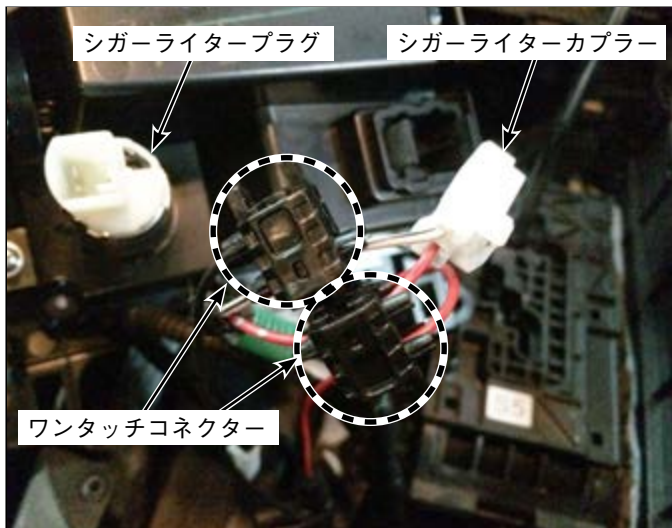
- (2) シガーライター付きコンソールカバーを、リムーバー等を使用して取り外してください。



- (3) シガーライター付きコンソールカバー裏側の、シガーライターカプラーを取り外してください。

**△注意**

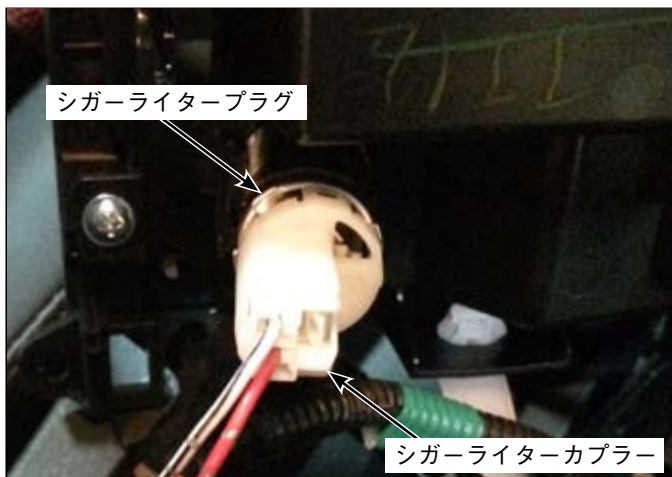
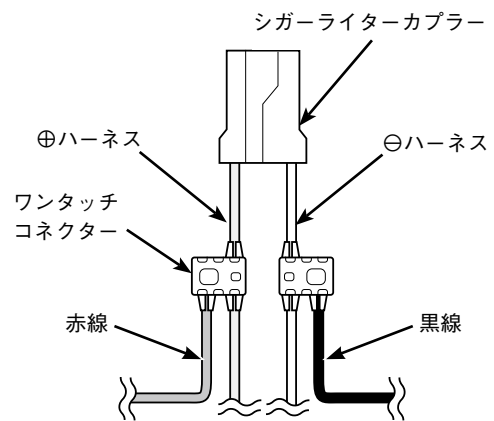
車両部品の取り外し、取り付けに関しては、サービスマニュアルを参考にしてください。また、外した部品にダメージを与えぬよう、注意してください。



- (4) ① - (1) で取り外したバッテリーターミナルを接続し、テスターにて、シガーライターカプラーから出ているハーネスの⊕⊖を確認してください。極性確認後バッテリーターミナルは取り外してください。
- (5) 車両側の⊕ハーネスに① LX USB JACK のハーネスの赤線、車両側の⊖ハーネスに① LX USB JACK のハーネスの黒線をワンタッチコネクタにて接続してください。

### ⚠注意

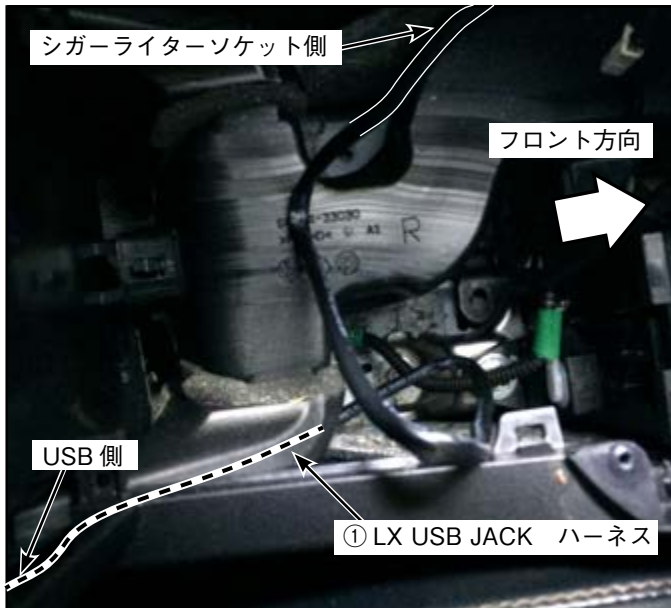
線の色を間違えないように注意してください。ワンタッチコネクタはパチンと音がするまでしっかりと圧着してください。



- (6) (3) で取り外したシガーライターカプラーを元に戻してください。

## 4

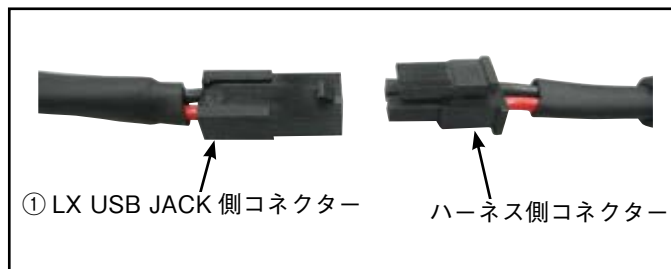
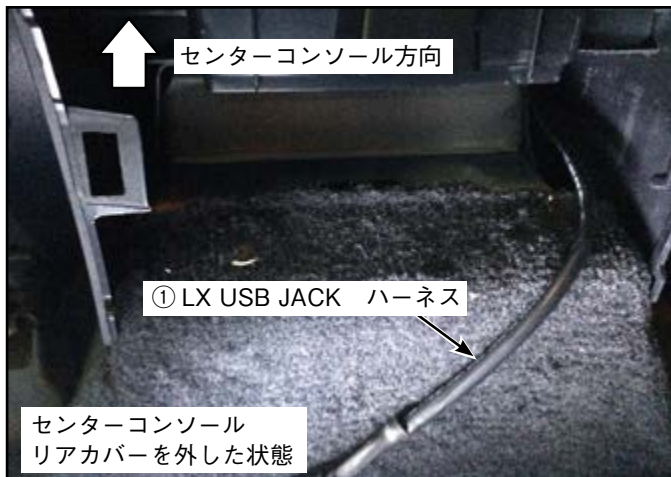
## ハーネスの配索方法



- (1) 左図のように、シガーライター付きコンソールカバー内側から、センターコンソールの右側を通してハーネスを配索してください。

## ⚠注意

配索の際、センターコンソールにハーネスを挟んだりしないように注意してください。



- (2) ③ - (1) で取り外した① LX USB JACK の先端のコネクタとハーネスのコネクタを接続してください。

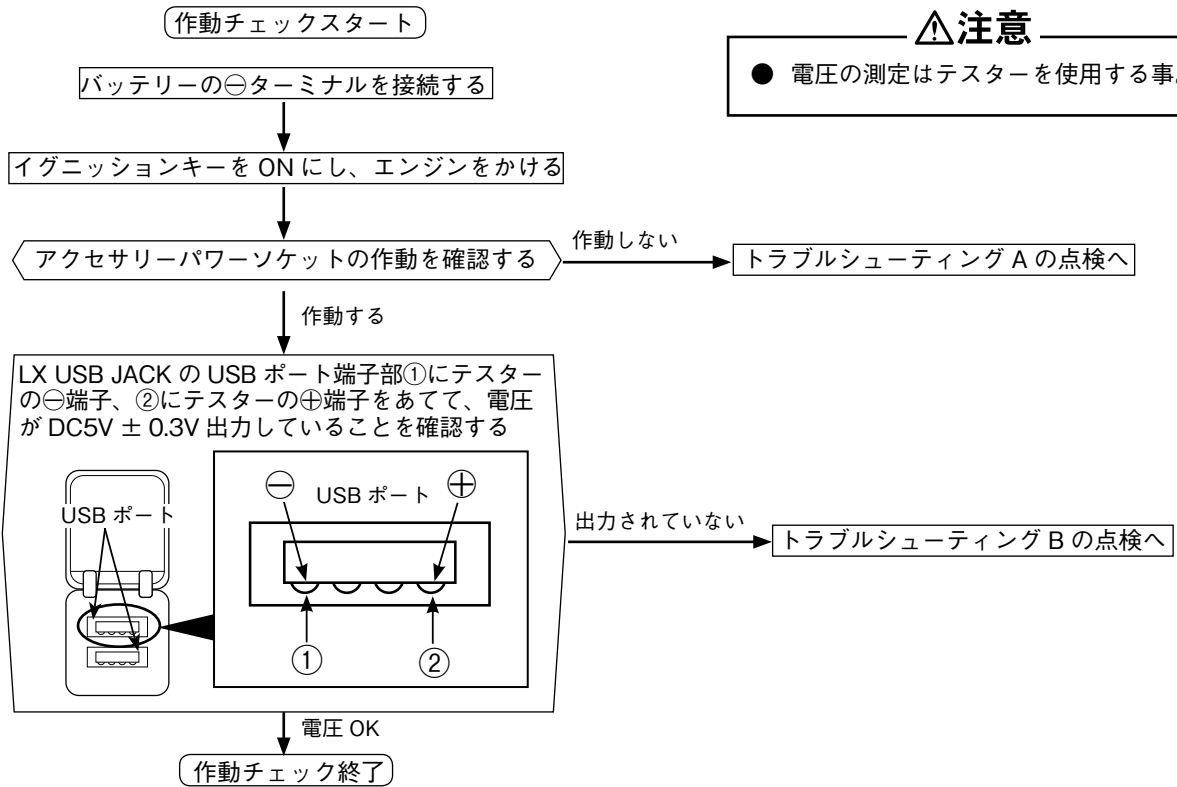


取り付け完成した状態

5

作動確認

- (1) 配線や取り付けに異常がないか点検してください。特に車両ハーネス及び、ワイヤーハーネスについて、もう一度点検をしてください。
- ・配線の噛み込みや無理に押されたり、引っ張られたりしていないか
  - ・タイラップ等固定の外れや部品の締め忘れがないか

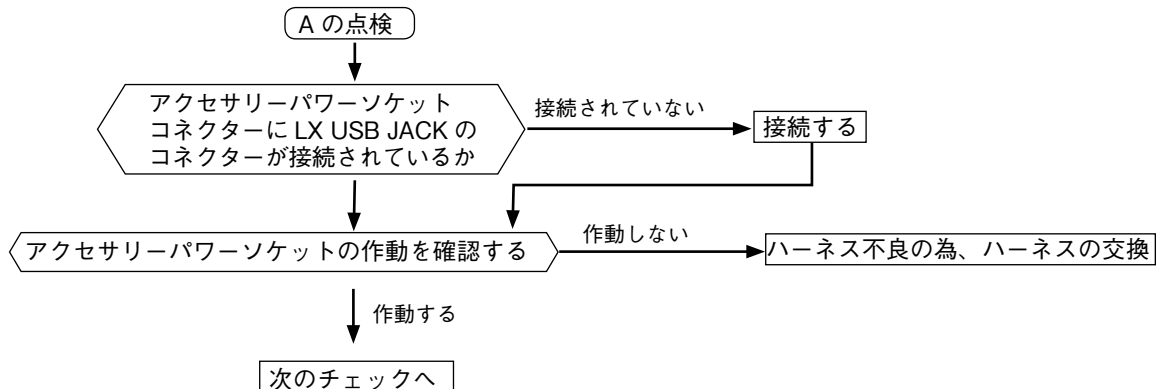


⚠注意

● 電圧の測定はテスターを使用する事。

トラブルシューティング

このトラブルシューティングは取付完了後の点検時に発生した作動不良についてその点検方法を記載しています。導通電圧の点検は、テスターを使用してください。

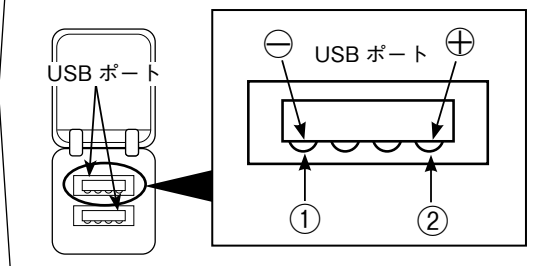


Bの点検

LX USB JACK 2極コネクタは接続されているか

接続されている

LX USB JACK の USB ポート端子部①にテスターの⊖端子、②にテスターの⊕端子をあてて、電圧が DC5V ± 0.3V 出力していることを確認する



出力されていない

LX USB JACK 本体不良の為、本体交換

電圧 OK

作動チェック終了

復元作業

「作動確認」完了後、取り外した車両部品を元通りに取り付けてください。また、復元の際は、下記の点に注意して作業を行なってください。

⚠注意

- 復元時に、車両ハーネス及び、ワイヤーハーネスを噛み込んだり、車両部品を破損させないように注意してください。
- 車両シガーライターのソケットにワイヤーハーネスや車両ハーネスが直接触れないように注意し、復元後に確認してください。

仕様

項目	仕様
電源電圧	DC12V
DC 出力電源	DC5V (1口)
出力電流	2.1A (1口)